

頭陀袋 ④⑤ 平成二十八年三月号

発行 中山かんのん

恩林寺



中山中学下、電話三四一―二四五

極楽はほんとうにあるの？

あるご家庭に伺ったら、お経のあとにこんな話が出ました。「おっ様。わしらもこの年になるとそろそろお迎えの準備もせんと、もう手遅れになると困るで、今日はひとつ、極楽の話をしてくれんかな。」とのこと。「そうですね。わしも極楽というところへは、行ってみた事もないし見たこともないのでな。しかし、私ら黄檗宗の教義の中に、「唯心（ゆいしん）の浄土、己心（こしん）の弥陀」という言葉があります。この世を浄土に、心は阿弥陀仏。という教えです。死後の世界はいろいろ取りざたされていますが、いまだかつて生前に確かめた人はいませんが、私も知らないのいい加減なことをいうわけにはいきません。死んだあとのことよりもむしろこの世のことを話したほうがわかりやすいかもしれません。地獄も極楽も、この世にありで、早い話が怒りの心が地獄で、喜びの心が極楽かもしれません。（腹が立ったら鏡を出して顔を見よ。鬼の顔がタダで見られる。」わざわざ地獄に行かなくてもこの世において鏡一つあればいつでも鬼に出会うことができます。極楽とは幸せのことですが、幸せとは自分の心の中に自分で作るものであり、普段より感謝の念もち毎日楽しんで暮らせるなら、これこそ極楽そのものです。しかし、はなしとしてはよくわかるが、なかなかそうはいきません。

腹を立てたり、愚痴を言ったり手に入らないものをほしがったりして、迷いや悩みが絶えません。つまりは、毎日そのものが地獄暮らしのようなものです。そこで、ぜひこのようなことから離れて毎日極楽暮らしがしたいものです。実は、地獄も極楽も紙一重で、その人の心の持ちようで地獄にも極楽にもなるものではないでしょうか。こうしたことに気付くことが悟りというものでないでしょうか。と、えらそうな話をした次第です。

恩林寺今年度前半の行事

① 三月二十一日(春分の日)午前十一時
涅槃忌、永代祠堂総回向
場所 恩林寺本堂。法要後、お齋があります。

(お釈迦様のお亡くなりになったことを偲ぶ法要、檀信徒様のご先祖様の永代経法要を予定しております。近年ご家族がなくなられた方、水子供養をされたい方、お申し出ください。尚、永代経をいただいている仏についてはお寺の名簿に挙がっておりますので、申込み不要です。

② 五月三日午前十時
琵琶を聞く会（抹茶の接待があります。）
各務ヶ原市 黄檗宗清見寺住職
中野妙照禅尼様がご演奏されます。

③ 六月二十八日午前十一時
施餓鬼水陸会

岐阜県内の黄檗宗の和尚様方が出仕され
正式な黄檗式のお施餓鬼が務まります

②、③につきましては追ってご案内を差し上げます。